

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成30年7月5日(2018.7.5)

【公開番号】特開2016-215590(P2016-215590A)

【公開日】平成28年12月22日(2016.12.22)

【年通号数】公開・登録公報2016-069

【出願番号】特願2015-105815(P2015-105815)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

B 6 5 H 7/14 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 2/01 3 0 5

B 4 1 J 2/01 4 0 1

B 4 1 J 2/01 4 5 1

B 6 5 H 7/14

【手続補正書】

【提出日】平成30年5月16日(2018.5.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

記録媒体の光沢性に関する光沢の程度を示す光沢情報と、前記記録媒体の厚さに関する厚さ情報を取得する第1の取得手段と、

前記第1の取得手段により取得された前記光沢情報と前記厚さ情報を基づいて、前記記録媒体への記録動作を制御するための制御パラメータを取得する第2の取得手段と、

前記第2の取得手段により取得された前記制御パラメータを用いて、前記記録媒体への記録動作を制御する制御手段と、

前記記録媒体に記録剤を付与して記録を行う記録手段と、

を備えることを特徴とする記録装置。

【請求項2】

前記第2の取得手段は、前記制御パラメータとして、前記記録手段からのインク吐出量、前記記録媒体の搬送量、前記記録媒体のカットスピード、前記記録媒体のプラテンに吸着させるための吸引圧、のうち少なくともいずれかを取得することを特徴とする請求項1に記載の記録装置。

【請求項3】

前記第2の取得手段が前記インク吐出量を取得する場合、

前記第1の取得手段により取得される前記光沢情報が示す光沢の程度が第1の程度である場合の前記インク吐出量より、前記第1の程度より大きい第2の程度である場合の前記インク吐出量は大きく、

前記第1の取得手段により取得される前記厚さ情報が示す厚さが大きいほど、前記第2の取得手段により取得される前記インク吐出量は大きい、

ことを特徴とする請求項2に記載の記録装置。

【請求項4】

前記第2の取得手段が前記搬送量を取得する場合、

前記第1の取得手段により取得される前記光沢情報が示す光沢の程度が第1の程度であ

る場合の前記搬送量より、前記第1の程度より大きい第2の程度である場合の前記搬送量は大きく、

前記第1の取得手段により取得される前記厚さ情報が示す厚さが小さいほど、前記第2の取得手段により取得される前記搬送量は大きい、

ことを特徴とする請求項2又は3に記載の記録装置。

【請求項5】

前記第2の取得手段が前記カットスピードを取得する場合、

前記第1の取得手段により取得される前記光沢情報が示す光沢の程度が第1の程度である場合の前記カットスピードより、前記第1の程度より大きい第2の程度である場合の前記カットスピードは速く、

前記第1の取得手段により取得される前記厚さ情報が示す厚さが小さいほど、前記第2の取得手段により取得される前記カットスピードは速い、

ことを特徴とする請求項2乃至4のいずれか1項に記載の記録装置。

【請求項6】

前記第2の取得手段が前記吸引圧を取得する場合、

前記第1の取得手段により取得される前記光沢情報が示す光沢の程度が第1の程度である場合の前記吸引圧より、前記第1の程度より大きい第2の程度である場合の前記吸引圧は大きく、

前記第1の取得手段により取得される前記厚さ情報が示す厚さが大きいほど、前記第2の取得手段により取得される前記吸引圧は大きい、

ことを特徴とする請求項2乃至5のいずれか1項に記載の記録装置。

【請求項7】

前記光沢情報および前記厚さ情報と、前記制御パラメータとが対応づけられた情報を記憶する記憶手段、をさらに備え、

前記第2の取得手段は、前記第1の取得手段により取得される前記光沢情報と前記厚さ情報に基づいて、前記記憶手段から前記制御パラメータを取得する、ことを特徴とする請求項1乃至6のいずれか1項に記載の記録装置。

【請求項8】

前記第1の取得手段は、前記記録媒体からの反射光を検出するセンサを用いて、前記光沢情報と前記厚さ情報を取得することを特徴とする請求項1乃至7のいずれか1項に記載の記録装置。

【請求項9】

前記記録手段は、前記記録媒体の搬送方向と交差する方向に走査しながらインク滴を吐出して記録を行う記録ヘッドであることを特徴とする請求項1乃至8のいずれか1項に記載の記録装置。

【請求項10】

記録媒体の支持手段と、記録剤の付与手段とを備える記録装置において実行される制御方法であって、

記録媒体の光沢性に関する光沢の程度を示す光沢情報と、前記記録媒体の厚さに関する厚さ情報を取得する第1の取得工程と、

前記第1の取得工程において取得された前記光沢情報と前記厚さ情報を基づいて、前記記録媒体への記録動作を制御するための制御パラメータを取得する第2の取得工程と、

前記第2の取得工程において取得された前記制御パラメータを用いて、前記記録媒体への記録動作を制御する制御工程と、

前記支持手段により支持された前記記録媒体に前記付与手段により前記記録剤を付与して記録を行う記録工程と、

を有することを特徴とする制御方法。

【請求項11】

請求項1乃至9のいずれか1項に記載の記録装置の各手段としてコンピュータを機能させるためのプログラム。

【手続補正2】**【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0006**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0006】**

上記課題を解決するため、本発明に係る記録装置は、記録媒体の光沢性に関する光沢の程度を示す光沢情報と、前記記録媒体の厚さに関する厚さ情報とを取得する第1の取得手段と、前記第1の取得手段により取得された前記光沢情報と前記厚さ情報に基づいて、前記記録媒体への記録動作を制御するための制御パラメータを取得する第2の取得手段と、前記第2の取得手段により取得された前記制御パラメータを用いて、前記記録媒体への記録動作を制御する制御手段と、前記記録媒体に記録剤を付与して記録を行う記録手段と、を備えることを特徴とする。